

「全知P連会長の石塚さんご家族が、 ハワイ島ヒロ高校の特別支援学級を訪問されました。」

平成22年11月22日～28日にハワイへ家族旅行に行きました。うち、4泊をハワイ島のエンジェルハウスで滞在させていただきました。

滞在中に、ヒロ高校の特別支援学級とARC作業所の見学をしたく、国際交流機構・関野氏にお願いをしました。

エンジェルハウスの近隣にお住まいの日本人の方に通訳をお願いし、朝9時にヒロ高校に到着すると、既に特別支援学級の生徒は日課の清掃を済ませ、移動中でした。食堂で、ランチ作りの調理補助に携わっている女子生徒の見学に行くと、ハンバーガー用のパンを割り、手際良くトレーの上に並べている所でした。現場のチーフは「ここでの戦力になっている。」と説明してくださり、楽しそうに仕事をしていました。

また、街でのジョブサイト（現場実習）の様子も見学させていただきました。事務用品を取り扱うお店のバックヤード、農作業用の飼料・機具などを扱うお店の商品整理、図書館での貸出本の収納など、丸1学期間を実習しているとの話には驚きました。いずれの実習先でも、現場の方からのあたたかなサポートがあり、生徒はのびのびと自信を持って取り組んでいました。また、同時に「この子に来てほしい」とのお話が出ており、先生はとても喜ばれておりました。

午後は、ヒロ高校の近くにあるARC作業所を訪問しました。皆さんの表情がとても明るく、利用者と支援者の区別がつきませんでした。

ARCの活動は、朝7時から始まります。支援者は、支援のし過ぎをしないよう、出来る限り利用者が自ら動くように導き、自立を促すとのことで、昼食も給食ではなく、利用者と支援者と共同で毎日（月～金）作っているとのことでした。丁度、感謝祭にあたるからとのことで、ご馳走になってしまいました。

食後のプログラムは、フラでした。シャイな娘を差し置いて、本場のフラを体験させていただきました。マネージャーさんの計画されたプログラムで活動する方たちの他に、ジョブコーチと一緒に大きなビニールハウスで（水耕栽培で）新鮮な野菜を作っている方、広い作業室でクリーニング作業をしている方がいました。作業をすることが苦になってきた時、同じ作業にあきてきた時などは、変更が可能とのこと。いずれの作業も街の中での評価は高く、障がい者が頑張っているから買ってあげるとか注文しようという考えの対象では無いこともわかり、うれしくなりました。授産的な作業と自立促進的な活動の両方を併せ持つ複合型の施設になっているので、学齢期卒業後の力がみなぎっている時、高齢になって作業自体が辛くなってきた時に、柔軟な対応が可能であり、理想的な居場所の一つだと

感じました。

広大な敷地内にあるエンジェルハウスでの滞在は、とても快適で、ゆっくりと休むことができました。

激しい雨と爽やかな風、見たことの無い大きな虹と満天の星空、そして地球の息吹を感じさせる溶岩……。大自然の中で、ハワイアンスピリットに触れながら貴重な見学もさせていただくことができ、心より感謝いたします。

全国特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合会
会長 石塚 由江

